

# 令和5年度(6年産)ビール大麦等成熟期予測①

農業総合研究センター研究開発部麦類研究室

予測日：令和6年4月22日

○気象庁季節予報によると、向こう1か月の平均気温は平年より高くなる可能性が高く、成熟期が早まることが想定されるため、収穫適期を逃さないよう、早くから収穫準備を進める。

## 【成熟期予測】

農業総合研究センター本場のニューサチホゴールドの成熟期は、出穂期以降の平均気温(有効積算温度)により予測すると、今後気温が平年並で推移した場合は**5月29日**、平年に比べ+1℃で推移した場合は**5月26日**となる(前年5月23日、平年5月28日)見込みである。また、平年+2℃で推移した場合は**5月23日**となる見込みである。

気象庁季節予報によると、向こう1か月の平均気温は平年より高くなる確率が80%であり、成熟期は平年より早くなる可能性が高いと考えられるため、収穫適期を逃さないよう注意が必要である。

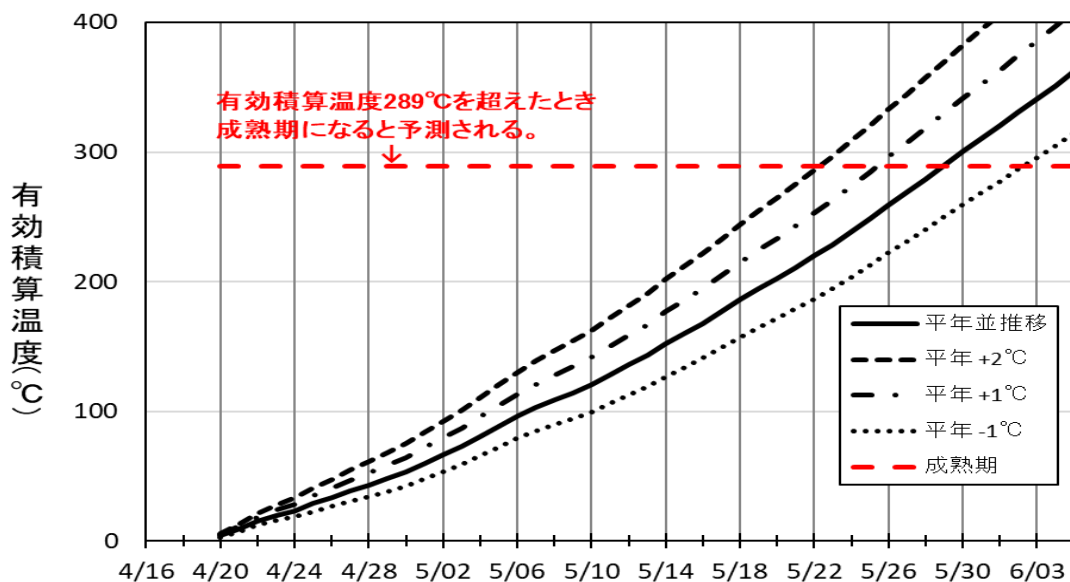


図 ニューサチホゴールドの成熟期予測(農研センター本場)

※有効積算温度=Σ(日平均気温-有効下限温度(10.6℃))

※日平均気温は気象庁宇都宮アメダスの観測データを使用した。

※有効積算温度及び有効下限温度は、ニューサチホゴールドにおける出穂期から成熟期までの積算温度で算出した。

## 【出穂期の概況】

今年度のビール大麦の出穂期は、農業総合研究センター本場（宇都宮市）のニューサチホゴールドは4月20日（前年4月8日、平年4月18日）、サチホゴールドは4月19日（前年4月9日、平年4月17日）であった。

※播種時期の降雨等の影響により、播種が平年より10日遅くなったため、本年度の生育概況は参考としたい。

品種名	出穂期				
	本年	前年	差	平年	差
ニューサチホゴールド	4/20	4/8	+12	4/18	+2
サチホゴールド	4/19	4/9	+10	4/17	+2

※平年値

ニューサチホゴールド及びサチホゴールド：平成25～令和4年度（10年間）

## 【今後の気象動向（気象庁季節予報令和6年4月18日発表より引用）】

- 期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
  - ・向こう1か月の平均気温は、平年より高い確率80%
  - ・降水量は、多い確率40%
  - ・日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%

気温、降水量、日照時間の名階級の確率（%）			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 04/20～05/19	10 10 80
		1週目 04/20～04/26	10 10 80
		2週目 04/27～05/03	10 10 80
		3～4週目 05/04～05/17	10 30 60
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 04/20～05/19	30 30 40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 04/20～05/19	40 40 20

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)